

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年3月31日～2014年4月6日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年4月11日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### ▼チリクバ「アブハジア外相」とサナコエフ「南オセチア外相」がイタリアを訪問(31日)

・アッシジ、ベルーノ、ベネチアなどを訪問。アブハジア・南オセチア側の発表によれば、アッシジ市長補佐官、ベルーノ市長、ヴェネト州政府補佐官らと会談した。

#### 【アブハジア】

#### ▼グルジア系住民に発行された「アブハジア共和国」パスポートをめぐる問題(4月4日)

・「アブハジア共和国検察」は、東部のガリ地区、トクヴァルチェリ地区、オチャムチレ地区で2006年以降に発行された「アブハジア共和国」のパスポート26,197通を確認した結果、1,181通が「違法に」発行されたものであったとして、「共和国政府」に対し、「違法に」発行されたパスポートの無効化・没収を要請。「議会」は、グルジア国籍を有する住民に対してパスポートの代わりに新たに「住民証」を発行することに関する決議を採択。

#### 【南オセチア】

#### ▼ティビロフ「大統領」が新「首相」を任命(4月2日)

・「南オセチア議会」での承認(賛成21名、反対10名)を受け、ティビロフ「大統領」がクルムベゴフ前「副首相」を「首相」に任命。1月にティビロフ「大統領」が「内閣」を解任して以降、これまでクルムベゴフ前「副首相」が「首相代行」を務めていた。

### 2. 外 政

#### ▼グルジアとツバルが外交関係を樹立(31日)

・トビリシでパンジキゼ外務大臣とフィニコソ・ツバル環境・外交・労働・通商大臣が議定書に署名。ツバルは、2011年に行なったアブハジアおよび南オセチアの独立承認を撤回した。議定書は、「ツバルはアブハジア自治共和国およびツヒンヴァリ地区／南オセチアを含む、国際的に承認された国境内におけるグルジアの領土一体性を承認する」と強調している。

・「パ」外務大臣は、ツバルの決定が、国際法の基本的な原則に反してグルジアの被占領地域を承認した国々の手本となるとの希望を表明した。

・アブハジアと南オセチアを承認している国は、ロシアの他にニカラグア、ベネズエラ、ナウルのみとなった。

#### ▼仏・独・ポーランドの外務大臣の共同声明(31日)

・仏・独・ポーランドの外務大臣は、クリミア併合に関しロシアを非難しつつ、東方パートナーシップに関連し

て、EUとの連合協定の影響についてEUおよびウクライナ、モルドバ、グルジアとの対話をロシアに呼びかける共同声明を発表。

#### ▼アーボルティニャ・ラトビア国会議長がグルジアを訪問(31日-4月1日)

・ガリバシヴィリ首相およびパンジキゼ外務大臣と会談。「ア」ラトビア国会議長は、早期のグルジア・EUの連合協定への署名に対する支持を確認し、合意の実施のプロセスにおけるグルジアに対する支援の必要性を強調。

#### ▼ヘニス＝ブラセルツ・オランダ国防相がグルジアを訪問(31日-4月2日)

・ガリバシヴィリ首相およびアラサニア国防大臣と会談。「ア」国防大臣との会談では、法の支配、人権の尊重、安全・安定の促進、平和プロセスの強化、統治システムの改善、貧困の撲滅などの分野におけるグルジアに対する支援の重要性に言及された。グルジア国防省は、国防計画策定のプロセス、負傷兵のリハビリ、軍警察の訓練に関するオランダとの協力を強化する。

・「ヘ」蘭国防大臣はNATO加盟に向けたグルジアの前進を喜ばしく思うとして、いつかグルジアがNATOに加盟することは疑いないと述べた。

#### ▼リデントン英欧州担当外務閣外相がグルジアを訪問(4月1日)

・ガリバシヴィリ首相、パンジキゼ外務大臣と会談。「ガ」首相との会談では、英・グルジア商工会議所の在トビリシ代表部の開設を歓迎し、両国のビジネス関係が更に発展することに対する期待を表明した。

#### ▼パンジキゼ外務大臣がNATO・グルジア委員会に出席(4月2日)

・ブリュッセルで開催されたNATO外相会合に並行して行われた外相レベルのNATO・グルジア委員会(NGC)会合にパンジキゼ外務大臣が出席。「パ」外務大臣はグルジア国内の改革を紹介し、地域的な安全保障およびグルジアのNATO加盟のプロセスに焦点を当てて演説した。ラスムセンNATO事務局長は、グルジアによるNATO加盟の追求に対するNATOの強い支持を再確認した。

・NATOは、グルジアの加盟を約束したブカレスト首脳会議の決定への関与を再確認し、欧州・大西洋地域の安全保障に対するグルジアの貢献を評価。

・「パ」外務大臣は並行して行われたNATO・ISAF参加諸国外相会合にも参加。2014年以降のアフガニスタンでの活動への参加の意思を再確認し、ISAF終了後に輸送路としてグルジアのインフラを利用することを再提案した。

・「パ」外務大臣はイギリス、チェコ、クロアチアの外務

大臣とも会談。

### ▼マルグヴェラシヴィリ大統領がポーランドを訪問(4月2日-3日)

・「マ」大統領はEU諸国への初めての公式訪問としてポーランドを訪問し、コモロフスキ・ポーランド大統領、トウスク・ポーランド首相と会談した。「コ」ポーランド大統領は、「EUとグルジアの連合協定への署名は、ロシア・ウクライナ関係の現状に対して欧州が発することのできる最良のメッセージである」と話した。

## 3. 内政

### ▼アハライア元国防大臣に関する事件の証人の死亡をめぐる疑惑

・アハライア元国防大臣が起訴を受けている、2006年にトビリシ市内での特殊作戦によって男性3名が死亡した事件に関連して、2月24日、検察は証人としてタトゥハシヴィリ元内務省憲法保安局員を尋問した。検察の説明によれば、その後、「タ」氏が保護を求めたために、検察は「タ」氏を秘密の場所に移動した。翌日、荷物を取るために一時的に自宅に戻った際に、「タ」氏は付き添っていた警官と家族の目を盗んで失踪した。3月18日にトビリシ郊外で発見され、再び検察の尋問を受けた後、3月24日に自宅で死亡しているのが発見された。

・「タ」氏の家族と弁護士は、死亡の原因は尋問の際に受けた虐待であったと主張。

・4月2日、国会で野党「統一国民運動」(UNM)は「検察は自らの犯罪を捜査しない」として、「タ」氏死亡事件に関する国会の特別委員会を設置することを求めたが、与党連合は捜査の結果を待つとしてUNMの要求を拒否。

・4月4日、検察は「タ」氏の死因は薬物・アルコール中毒による急性呼吸不全であったとする検死報告書を発表。

### ▼ツィクラウリ議員が暴行を受ける(31日)

・統一国民運動(UNM)所属のツィクラウリ議員が31日未明に自宅に押し入った7、8人の男性から暴行を受けた。「ツィ」議員によれば、男性らは覆面をつけており、電気ショックを与える器具を持っていた。

・UNMは「UNMを粉砕せんとするガリバシヴィリ首相・イヴァニシヴィリ前首相の目論見は達成されない。我々は国と国民の利益に基づき戦い続ける」との声明を発表。

・青年法律家協会、Transparency International Georgiaなど6つのNGOは迅速な捜査を求める共同声明を発表。ナミアシヴィリ人権保護官も同様の声明を発表した。

### ▼国際共和研究所(IRI)による世論調査(4月1日)

・IRIが2月19日から3月31日にかけて成人のグルジア国民3992人に対して対面調査を行なった結果を発表。

・61%が「NATOは次の首脳会議でグルジアにMAPを与えなければならない」と答えた。8%はグルジアに対するMAPの付与に反対。無回答31%。

・グルジアのNATO加盟に賛成58%(昨年調査では61%)。

・71%が「グルジアに対するロシアの侵略は未だ続いている」(昨年調査では49%)と答えた。

・グルジア国内の諸機関について、「信頼している」と答えた割合が高いのは、グルジア正教会94%、グルジア軍93%、メディア84%、警察82%、内閣69%、国会68%、首相府67%、大統領府64%、教育システム64%、裁判所52%、中央選挙委員会52%、検察50%、グルジア国立銀行48%、地方自治体47%、人権保護官事務室46%、政党37%、地方知事32%。

・イヴァニシヴィリ前首相が辞任したことについて、強く支持19%、やや支持17%、やや反対16%、強く反対36%。

### ▼検察がボケリア前国家安全保障会議書記を尋問(4月4日)

・検察は「国家安全保障会議による多額の予算の流用に関する証人として尋問を行なった」との声明を発表。

### ▼新たに7市が自治市に指定される(4月6日)

・国会は、新たにテラヴィ、ムツヘタ、ゴリ、アハルツィヘ、アンブローラウリ、オズルゲティ、ズグディディの7市を「自治市」に指定し、各市がこれまで属してきた地区の地区議会とは別に、市議会を設置することを決定。これまで「自治市」はトビリシ、クタイシ、ルスタヴィ、バトゥミ、ポティの5市のみであった。6月の地方選挙で選ばれる議会の数は64から71に、市長の数は5名から12名に増えることになった。

## 4. 経済

### ▼2013年末の時点の対外債務(31日)

・国立銀行が発表。2013年末の時点の対外債務は136億ドル。うち公的部門54億ドル、政府42億ドル、国立銀行3億4000万ドル、銀行セクター26億ドル。総対外債務の94.3%が外貨建て。

### ▼2013年の人口基礎統計(31日)

・国家統計局が発表。2013年中の出生数は男30,027人、女27,851人。死亡者数48,553人(自然増9,325人)。結婚件数34,693件、離婚件数8,089件。

### ▼2014年2月の経済成長率(31日)

・国家統計局が速報値を発表。GDP成長率は前年同月比5.4%。2014年1月~2月のGDP成長率は前年同期比6.7%。

### ▼グルジア・カタールビジネスフォーラム(4月2日)

・グルジア国家投資局が主催しトビリシで行われたフォーラムには80社が参加。カタール商工会議所の代表団がガリバシヴィリ首相と会談した。

### ▼2014年3月のインフレ率(4月3日)

・月間インフレ率はマイナス0.1%。食料品・非アルコール飲料の価格が0.6%低下。

・年間インフレ率は3.5%。食料品・非アルコール飲料の価格が5.4%、住居費・光熱水費が11.4%、アルコール飲料・タバコの価格が7.0%上昇。